

常任委員会

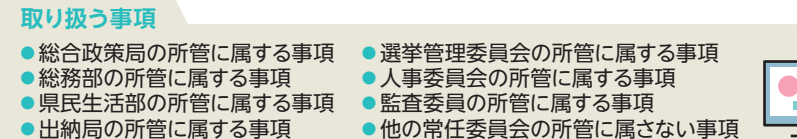
総務委員会



委員長
太田 正孝 [4期] 自民 岡山市北区・加賀郡



波多 洋治 [5期] 自民 岡山市北区・加賀郡



小田 春人 [8期] 自民 井原市・小田郡



高橋 徹 [2期] 民衆 岡山市中区



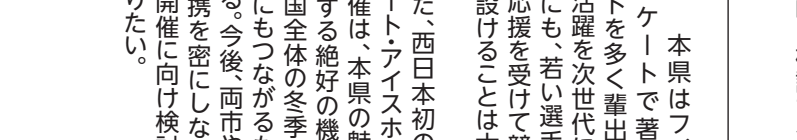
上田 かつよし [3期] 自民 井原市・小田郡



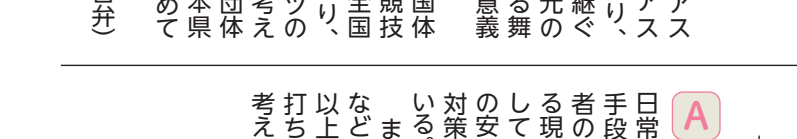
増川 英一 [5期] 公明 岡山市北区・加賀郡



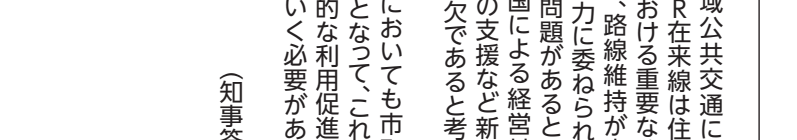
柳田 哲 [3期] 民衆 倉敷市・都窪郡



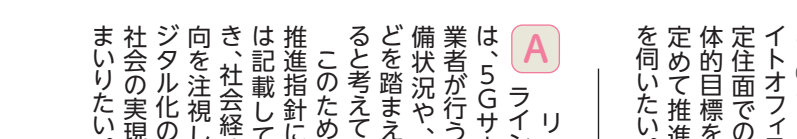
小林 義明 [3期] 自民 新見市



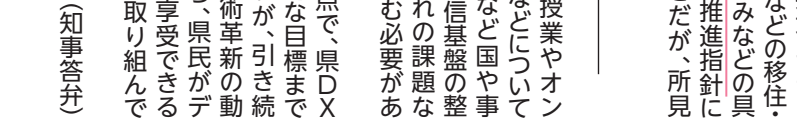
中塚 周一 [4期] 自民 倉敷市・都窪郡



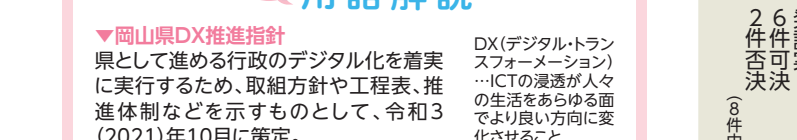
増川 英一 [5期] 公明 岡山市北区・加賀郡



柳田 哲 [3期] 民衆 倉敷市・都窪郡



小田 圭一 [7期] 自民 倉敷市・都窪郡



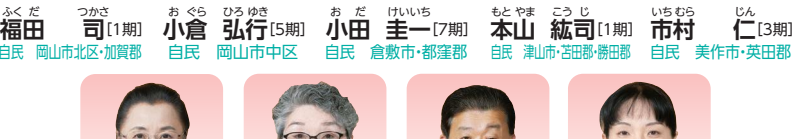
本山 紘司 [1期] 自民 津山市・吉田郡・勝田郡



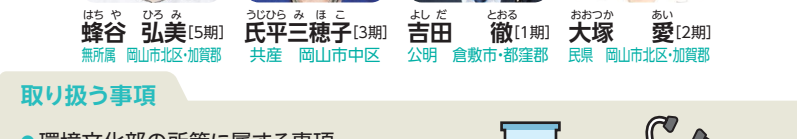
市村 仁 [3期] 自民 美作市・英田郡

- ### 取り扱う事項
- 総合政策局の所管に属する事項
 - 総務部の所管に属する事項
 - 県民生活部の所管に属する事項
 - 出納局の所管に属する事項
 - 企業局の所管に属する事項
 - 選挙管理委員会の所管に属する事項
 - 人事委員会の所管に属する事項
 - 監査委員の所管に属する事項
 - 他の常任委員会の所管に属さない事項

環境文化保健福祉委員会



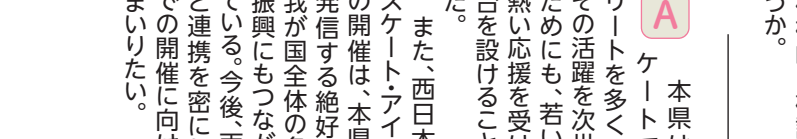
委員長
福田 つかさ [1期] 自民 岡山市北区・加賀郡



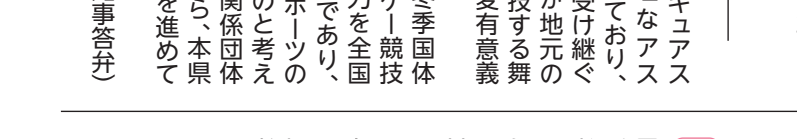
小倉 弘行 [5期] 自民 岡山市中区



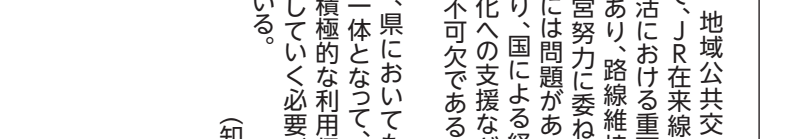
小田 圭一 [7期] 自民 倉敷市・都窪郡



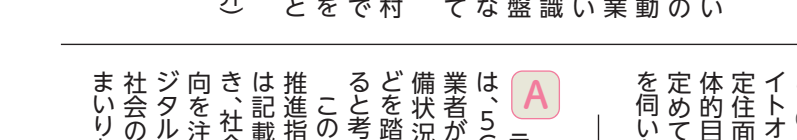
本山 紘司 [1期] 自民 津山市・吉田郡・勝田郡



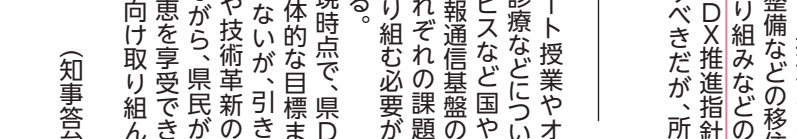
市村 仁 [3期] 自民 美作市・英田郡



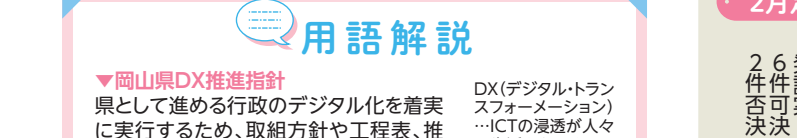
蜂谷 弘美 [5期] 無所属 岡山市北区・加賀郡



氏平三穂子 [3期] 共産 岡山市中区



吉田 徹 [1期] 公明 倉敷市・都窪郡



大塚 愛 [2期] 民衆 岡山市北区・加賀郡

- ### 取り扱う事項
- 環境文化部の所管に属する事項
 - 保健福祉部の所管に属する事項

県議会議員と各委員会

©岡山県「ももっちゃん」

5月16日に臨時会が開催され、正副議長が選任されるとともに、議会の内部機関である議会運営委員会、常任委員会と特別委員会の構成のほか、監査委員が決まりました。

議員定数 **55人**

(欠員1人)

【取り扱う事項】

議会運営委員会	● 議会の運営に関する事項 ● 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 ● 議長の諮問に関する事項	小倉弘行(委員長)／池本敏朗(副委員長) 千田博通／天野学／小田春人 内山登／小田圭一／伊藤文夫 住吉良久／高原俊彦／山田総一郎
決算特別委員会	● 前年度一般会計、特別会計及び企業会計の決算状況に関する調査 ● 事業成果に関する調査	大塚愛(委員長)／大森一生(副委員長) 小田春人／蓮岡靖之／神宝謙一 山本雅彦／田野孝明／小倉博 住吉良久／荒島俊造
総合計画・行財政改革特別委員会	● 第3次晴れの国おかやま生き生きプランに関する調査 ● 第2期おかやま創生総合戦略に関する調査 ● 情報発信に関する調査 ● 行財政改革・地方分権推進・広域行政に関する調査	大橋和明(委員長)／吉田徹(副委員長) 千田博通／渡辺英気／波多洋治 池本敏朗／小林義明／渡辺知典 柳田哲／佐古一太 (欠員1人)
地域振興特別委員会	● 地域経済活性化に関する調査 (1)企業誘致・金融・人材確保対策に関する調査 (2)農林水産業に関する調査 ● 中山間地域の振興に関する調査 ● 観光振興等に関する調査 (1)観光振興 (2)首都圏における魅力発信の推進 ● 広域交通網の整備等に関する調査	松島幸一(委員長) 秋山正浩(副委員長) 天野学／小野泰弘／内山登 上田勝義／市村仁／鳥井良輔 山田総一郎／須増伸子
防災・環境対策・スポーツ振興特別委員会	● 災害復旧・復興に関する調査 ● 防災計画等に関する調査 ● 環境対策に関する調査 (1)地球温暖化対策・新エネルギーの普及 (2)循環型社会形成推進対策 (3)児島湖の環境保全対策 ● スポーツ・武道の振興に関する調査 ● 全国植樹祭に関する調査	福田司(委員長) 本山紘司(副委員長) 河本勉／小田圭一／伊藤文夫 高橋戒隆／中塚周一／高原俊彦 笹井茂智／蜂谷弘美
教育再生・子ども応援特別委員会	● 学力向上・グローバル人材育成に関する調査 ● 青少年の健全育成に関する調査 ● 子育て支援・家庭環境対策に関する調査	清水薫(委員長)／乙倉賢一(副委員長) 遠藤康洋／小倉弘行／江本公一 福島恭子／河野慶治／高橋徹 増川英一／氏平三穂子
監査委員		木口京子／中川雅子

代表質問から



国民体育大会 冬季大会について



小倉 弘行 議員 [自由民主党]

Q 冬季スポーツの振興を図るため、全国大会誘致が望まれるが、昨年、日本スポーツ協会から冬季国体スケート・アイスホッケー競技開催の働きかけがあったと聞く。経費や運営面など課題もあるが、冬季国体の開催は意義深く、開催候補の岡山市、倉敷市とも連携し、開催に向けて積極的に検討すべきだが、どうか。

A 本県はフィギュアスケートで著名なアスリートも多く輩出しており、その活躍を次世代に受け継ぐためにも、若い選手が地元で熱い応援を受けて競技する舞台を設けることは大変有意義だ。
また、西日本初の冬季国体スケートアイスホッケー競技の開催は、本県の魅力を全国発信する絶好の機会であり、我が国全体の冬季スポーツの振興にもつながるものと考えている。今後、両市や関係団体と連携を密にしなが、本県での開催に向け検討を進めてまいりたい。
(知事答弁)

地域公共交通に対する 知事の考えについて



高原 俊彦 議員 [民主・県民クラブ]

Q 2月に本県と広島県との両県知事会談において、広島県知事は「鉄道事業者が届出をすれば路線を廃止できるのは行き過ぎた民営化ではないかと指摘し、国の経営に対する関与やJRの在り方について、抜本的に見直しをする時期だ」と発言したが、地域公共交通に対する知事の考えを伺いたい。

A 地域公共交通において、JR在来線は住民の日常生活における重要な移動手段であり、路線維持が事業者の経営努力に委ねられている現状には問題があると認識しており、国による経営基盤の安定化への支援など新たな対策が不可欠であると考えている。
また、県においても市町村などと一体となつて、これまで以上に積極的な利用促進策を打ち出していく必要があると考えている。
(知事答弁)

デジタル化の 推進について



増川 英一 議員 [公明党]

Q 人口減少やコロナ禍に対応するため、全ての人が恩恵を享受できるデジタル社会を構築しなければならぬ。本県でも①リモート授業での通信環境整備、タブレット端末などデジタル教材や通信料の無償化などの教育面での取り組み、②オンライン診療などの医療面での取り組み、③テレワーク拡大、サテライトオフィス整備などの移住・定住面での取り組みなど、具体的目標を県DX推進指針に定めて推進すべきだが、所見を伺いたい。

A リモート授業やオンライン診療などについては、5Gサービスなど国や事業者が行う情報通信基盤の整備状況や、それぞれの課題などを踏まえ取り組みが必要であると考える。
このため、現時点で、県DX推進指針に具体的な目標まで記載していないが、引き続き、社会経済や技術革新の動向を注視しながら、県民がデジタル化の恩恵を享受できる社会の実現に向け取り組んでまいりたい。
(知事答弁)

2月定例会は、2月22日から会期25日間で開かれ、諸議案の審議を終えて3月18日に閉会しました。
この議会に知事から提出された議案は、予算案35件、事件案件5件、及び条例案27件の計67件でした。
また、議会提出の発議案は、衆議院議員選挙制度の抜本的な改革を求める意見書案など、6件が可決されました。
2月25日には代表質問が行われ、小倉弘行議員(自由民主党)、高原俊彦議員(民主・県民クラブ)、増川英一議員(公明党)の3名の議員が県政の諸課題について会派を代表して質問を行ったほか、3月2日から4日まで、8日、9日の計5日にわたり20名の議員が一般質問を行いました。

一般質問を 行った議員

3月2日(水)	氏平三穂子 荒島 俊造 松島 幸一	共産 公明 自民
3月3日(木)	上田 勝義 本山 紘司 田野 孝明	自民 自民 自民
3月4日(金)	渡辺 知典	自民
3月8日(火)	高橋 徹 清水 薫 中川 雅子	民衆 自民 自民
3月9日(水)	木口 京子 吉田 徹 福田 雅彦 山本 雅彦 福田 雅彦 大塚 愛 大森 一生 太田 正孝	自民 自民 自民 自民 自民 自民 自民 自民 自民

2月定例会議決結果

■ 予算案	35件可決(35件中)
■ 事件案件	5件可決(5件中)
■ 条例案	27件可決(27件中)
■ 発議案	6件可決(6件中)
■ 否決	2件(2件中)

用語解説

▼岡山県DX推進指針
県として進める行政のデジタル化を着実に実行するため、取組方針や工程表、推進体制などを示すものとして、令和3(2021)年10月に策定。

DX(デジタル・トランスフォーメーション)…ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること